



ご入園、ご進級、おめでとうございます。それぞれのご家族の春、涙の季節かも、意欲満々の春かも、ドキドキの春かも、昨日の続きのような春かも、いろんな春に思いを馳せてみると、こんなに小さなこども達が、まるで歌詞のようなドラマチックな経験を積んで過ごしていることに思い至ります。みんなが主役の平成30年度の大河ドラマが始まりますね～！どんなドラマよりもドラマチックで、どんなドラマよりハラハラドキドキして、どんな俳優より輝く顔の一年がどんな顛末を迎えるのか、乞うご期待！！

今年も、こども達の後方支援部隊として私たち職員一同、それぞれの大河ドラマの、忘れられないキャストになれると素敵だなあ～と夢見つつ・・・一生懸命努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します！

保育目標～すべての子どもが、かけがえのない自分に気づくように～

「笑顔」みんなで笑いあおう・「思いやり」自分もともだちも認め合える心を大切にする

「誇り」知りたい！やってみたい！毎日を大切におおきくならよう・「こどもらしさ」こどもらしくのびのびと

当たり前ですが、時間は絶え間なく進み、季節も時間とともに進み、月日も季節とともに進みます。同じ日は二度とないし、同じ瞬間も二度とない。その間に起こる出来事によって、人はたくさんの事を感じ、学んでいきます。「すごいねーなんでわかったの？」って聞くと、こども達は、「じぶんでわかった！」って胸を張って答えます。そう、「〇〇が教えてくれた」とかっていう場合は特に胸を張っていません。「じぶんでわかった」の自己肯定感はずごく高く自信があるのです。わかった事柄に対する揺るぎなさがあります。絶対的理解だなあって思うのです。こうしてわかった事柄は、ひとつひとつが生涯通してその人のベースになっていきます。そして、乳幼児のすごいところは、その吸収の素直さ、早さ、広さです。

年長ともなれば、先生よりも友達の気質を見抜きわかっていきます。ゼロ歳児は、昨日できなかった事を次の日に何気なくやったりします。知ってる事、経験した事を駆使して、どんどん次のステップへと前進あるのみです。だからこそ、たくさんの経験をしたい。失敗や成功、試行錯誤、優しさに触れる経験、喜びを感じる経験、挫折感や苦しみも味わい、達成感も味わい、悲しみや葛藤もたくさん味わって欲しい。意味のない経験なんて何一つありません。思うようには進まない人生を歩んで行くには、思うようにいかなくても何とかかなった、どうにかなる！という経験をたくさん積むことが、道を切り開いていく原動力になります。

保育目標には、仲間と過ごす毎日が、そういう経験の日々になれ！！という思いを込めています。何気ない毎日の中に、それぞれのその子らしさと、大いなる学びをたくさん発見して、「じぶんでわかっていく」過程を、保護者の皆様とこども達の成長を穏やかにゆっくり見守っていきたいと思います。

♪～自分一人で 生きられるほど 力もないし 勇気もないし 人に合わせて 生きてゆくほど 素直じゃないし 器用じゃないし あせらない あせらない 君の歩く道が 人には道草に見えたとしても あせらない あせらない 風に揺れる花が 君の来るのを待っていたんだよ～♪『みちくさ』（しんざわとしひこ作詞作曲）の2番です。

急いで通り過ぎたら・・・風に揺れる花（なかま）を見過ごしてしまうかも・・・ゆっくり周りを知って、自分を知って、「じぶんでわかって」大きくなあれ！